



防衛医大病院広報誌 第19号 2026年1月発行
 企画・編集 防衛医科大学校病院 患者支援センター
 発行責任者 塩谷 彰浩
 住所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
 TEL 04-2995-1511 (代表)



防衛医大【まもる護】通信

地域医療連携検討会を令和7年11月25日(火)に開催しました。

テーマ：教育・研修を通じた地域連携 ～総合診療専門医育成の現状～

「教育・研修を通じた地域連携 総合診療専門医育成の現状」と題して、防衛医大総合臨床部専門研修プログラムにご協力いただいている連携施設の、はらこどもクリニック、みずの内科クリニック、西埼玉中央病院(小児科)、並木病院からの病院紹介に続いて、総合臨床部廣岡教授より、総合診療専門医の理念や使命から始まり、専門医育成のための各連携施設の重要性、そして総合診療の守備範囲まで幅広く講演がありました。

特に、専門医が修得すべき資質能力のうち、連携重視のマネジメント、地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、多様な診療の場に対応する能力の醸成には、各連携施設における臨床経験が必須であり、特定健康診査の事後指導や特定保健指導への協力、がん検診における説明・指導、保健所・幼稚園・小学校における健康や教育等の保健活動、健康教室の企画・運営など、連携施設のご協力がことのほか重要であることを強調されました。また、総合診療の守備範囲は、広く、臓器によらない疾患や症状全てであり、臓器別に分類が難しい患者さんや、診断に苦慮する患者さんや、複数臓器にまたがる疾病を有して治療に苦慮する患者さんについてご紹介いただければ対応するとのことでした。

参加者は来場112名 Web参加39名でした。ご参加の皆様ありがとうございました。

2025年度第2回 地域医療連携検討会

日時：2025年11月25日(火) 開催時間 18:30~20:00

場所：防衛医科大学校 臨床大講堂

司会 患者支援センター 副センター長 大淵 康弘

開会挨拶 院長 塩谷 彰浩

教育・研修を通じた地域連携
 ～総合診療専門医育成の現状～

1. 講演&病院紹介(60分)

『総合臨床の現状と役割～地域での支援協力のもとでの人材育成～

防衛医科大学校病院 総合臨床部 廣岡 伸隆

病院紹介

みずの内科クリニック	副院長 水野 寿一 先生
はらこどもクリニック	副院長 原 拓磨 先生
西埼玉中央病院(小児科)	小児科部長 浅野 貴子 先生
並木病院	院長 赤津 拓彦 先生

2. 『患者支援センターにおける連携と入院支援センターの活動報告』(10分)

防衛医科大学校病院 玉井美穂子・渡邊佳江 看護師

閉会挨拶 副院長 足立 健

交流時間 (19:50~20:00)

【日頃お世話になっている皆様と、顔の見える連携・情報交換も】

防衛医科大学校病院 患者支援センター

後援・協賛：所沢市医師会・防衛医科大学校医師会・防衛医科大学校同窓会

市民公開講座を9/10(水)に開催致しました

今回は、アンケート結果からご要望のあった認知症やがんの化学療法等について開催し、31名の方が参加されました。

● 『今日からできる認知症予防』 精神科 医師 戸田 裕之 先生



● 『おしえてください、そのがんの薬』 腫瘍化学療法部 医師 尾松 公平 先生



* 次回の市民公開講座は、令和8年2月4日(水)を予定しております。参加は無料で

す。当院HPや所沢市報『翔び立つひろば』1月号にて案内を掲載致しておりますのでご覧ください。

教授 就任 挨拶 感染症・呼吸器内科 教授 君塚 善文

このたび、防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器)の教授を拝命いたしました君塚善文です。これまで呼吸器内科医として、慶應義塾大学病院、済生会宇都宮病院、平塚市民病院、日野市立病院で研鑽を積んだ後、米国ボストンのハーバード大学マサチューセッツ総合病院感染症学講座に留学しました。留学中は呼吸器感染症やワクチンの研究に従事し、2018年より、防衛医科大学校へ助教として着任して以来、呼吸器・感染症領域の診療と並行して基礎・臨床研究を進展させて参りました。

私の臨床における専門領域は、非結核性抗酸菌症や結核など呼吸器の慢性感染症ですが、呼吸器全般、輸入感染症などの旅行医学領域、HIV診療などの感染症全般、と幅広い診療を学んできました。外来では、患者さんへの分かりやすい説明を心がけて取り組んでいます。

感染症も呼吸器も非常に広大な領域です。しかし、専門性に偏りすぎないように、今後の若手医師の育成においては、内科の基礎をしっかりと身に着けた上で、専門的な知識や経験を身に着けるよう指導し、地域全体の診療力向上に貢献したいと考えています。

現在、当講座では、肺癌、喘息・アレルギー、感染症など、多彩な専門家の招聘も進めています。また、診療規模も徐々に拡大しており、今後は地域の医療機関の先生方との連携をより密にし、医療圏全体で一体となってより多くの患者さんを支えることができる体制の構築を進めていきます。是非、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



教授 就任 挨拶 血液内科 教授 小林 真一

このたび、防衛医科大学校内科学講座教授(血液膠原病アレルギー内科)を拝命いたしました小林真一です。防衛医科大学校卒業後は自衛隊医官として部隊医療や病院診療に携わりながら、血液内科医として経験を積んで参りました。2013年の本学着任以降は、診療に加え、日本成人白血病研究グループの多施設共同研究や造血幹細胞移植にも携わり、地域医療との連携強化にも取り組んでおります。

臨床では、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など血液腫瘍を中心とした血液疾患全般を専門としています。治療は副作用への細やかな対応が必要で患者さんの負担を軽減し、安心して治療に臨んで頂けるよう、丁寧で分かりやすい説明を心がけています。また、血液疾患は初回治療から長期フォローアップまで多様な医療資源が必要となる領域です。地域の先生方と協力して初期治療や病状が安定した後の継続診療を地域で担って頂くなど地域と役割を分担しながら、患者さんが最適な医療を受けられる診療体制が整いつつあります。

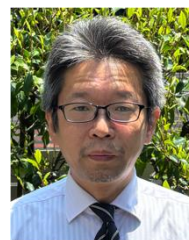
研究では、白血病や移植医療に関する研究に加え、近年は防衛省事業として戦傷医療における輸血研究を推進しています。血小板温存型全血製剤、輸血後GVHDの解析、凍結乾燥血漿の開発など、確実な輸血を行うための医療基盤づくりに取り組んでいます。

現在、標準治療に加えて分子標的薬、造血幹細胞移植、免疫細胞療法など専門性の高い医療が広がっております。地域の医療機関の先生方との協力体制がより強固になることで、医療圏全体で高水準の血液・膠原病医療を提供できる基盤が整いつつあり、これからも、患者さんにとって最適な医療を届けられるよう、講座一同で力を尽くして参ります。今後とも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



教授 就任 挨拶 放射線科 教授 野崎 太希

この度、2025年4月1日付で、防衛医科大学校放射線医学講座教授を拝命いたしました野崎太希と申します。放射線医学には、画像診断（CT・MRI・核医学・単純X線・透視）、画像ガイド下治療・診断（インターベンショナルラジオロジー：IVR）、放射線治療という三つの柱があります。



画像診断では、各診療科の先生方から依頼された患者さんお一人おひとりの画像検査依頼に対して放射線科専門医が撮像法などの細かい指示を出し、さらに撮像された画像を丁寧に読影し、各診療科へ専門的立場から画像診断報告書をお返ししています。IVRでは、交通事故などで生じる命に関わる動脈性出血に対して血管造影を行い、出血源の血管に塞栓物質を注入して止血します。また、複雑な部位にできた腫瘍等の病変に対してCTや超音波でリアルタイムに位置を確認しながら針で病理検査のための組織を採取したり、焼灼や凍結させて治療したりと、身体への負担をできるだけ抑えた低侵襲な治療・診断を行っています。放射線治療は、外科手術・化学療法と並ぶがん治療の重要な柱であり、症状緩和から根治を目指す治療まで幅広く対応しています。

このように診療科の枠を超えて領域横断的に医療を支える“縁の下の力持ち”的な存在が放射線科医であり、各診療科の先生方と緊密に連携しながら診療を行なっています。

放射線部は、放射線科医を含む医師、診療放射線技師、看護師、メディカルクラークで構成され、医療安全と部門運営の改善について毎月議論を重ね、患者さんに安全で円滑、かつ最適な放射線治療を提供できる体制を整えています。これからもチーム一丸となって、診療そして皆さまの健康を支えてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



放射線科読影室



放射線治療室

がん患者サロンを9/30（火）に開催しました 15名の方が参加されました

がんサロンは、患者さんやご家族が互いの経験をもとに、悩みや体験談などを共有する場で患者&家族同士が語り合う場です。当院でも通院中や入院中の方を対象にがんサロンを3回/年開催しています。

今回はミニレクチャーとして【がん治療中の生活の工夫方法あれこれ】と題して当院化学療法認定看護師の守岩美紀看護師からレクチャーをしてもらいました。また、2名のピアサポーター

（がんを経験し埼玉県のピアサポーター研修を受講された方）も参加して頂き、2つのグループに分かれて治療中の辛さや日常生活の工夫、家族や周囲の方のサポートや就労等への悩みを共有する事で不安軽減等にも繋がったようです。次回のがん患者サロンは、1/21（水）13:30～15:00に開催予定です。患者支援センターでは、がん相談支援センターも兼ねて個別相談の対応もしています。（予約制です）



病院理念

高度で安全な医療を提供しつつ地域医療並びに自衛隊の医療・衛生活動に貢献し、優れた自衛隊医官・看護官等を育成する

基本方針

- 1 患者さんの視点に立った、安全で良質な医療を提供する
- 2 地域医療機関と密に連携し、地域に貢献する
- 3 高度で先進的な医療を提供する
- 4 地域の中核として救急医療を実践する
- 5 新興感染症に対して敏速対応できる体制を整える
- 6 災害対処能力の向上に努める
- 7 自らの使命感を自覚し、豊かな人間性と高い倫理観を備え、自衛隊の多様な任務にも対応しうる医官・看護官等を育成する

【初診予約についてお願い】



※右のQRコードを読み取り「初診予約受付のご案内」を参照ください。

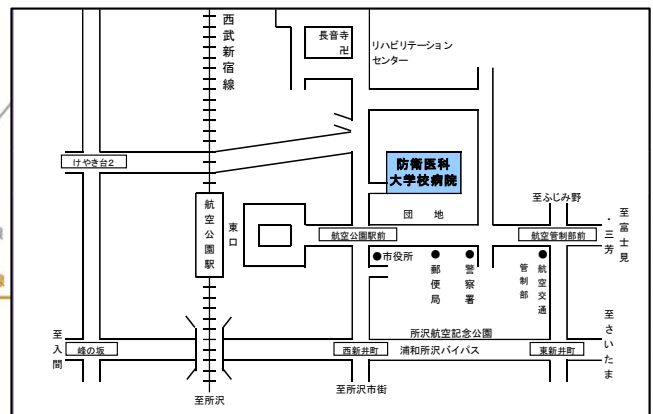
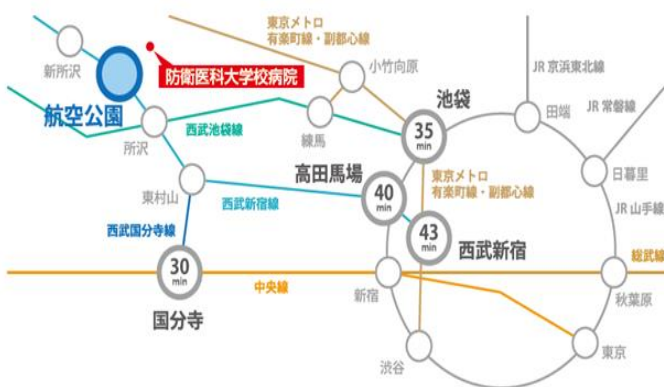
当院の精神科、感染症・呼吸器内科、脳神経内科、膠原病内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、泌尿器科（泌尿器科一般・尿路腫瘍）、泌尿器科特殊外来【尿道狭窄症・尿失禁（男性）】、消化器内科特殊外来（脂肪肝炎）の初診外来は完全紹介予約制とさせていただきます。

上記診療科初診希望の患者さんを紹介頂く場合は、医療機関の皆様から当院地域医療連携センターへFAXにて初診予約をお願い致します。患者さんからの予約は受付していません。

・令和8年1月より、**消化器内科は完全紹介予約制**となりました。ご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

・令和8年3月27日（金）は、当院システム換装のため外来休診（初診予約業務含む）の予定です。

アクセス(交通のご案内)



医療連携の連絡先

地域医療連携センター

初診予約、緊急入院・受診、
セカンドオピニオン、病状照会等

TEL：04-2995-1511 内線 3043・3882

患者支援センター・がん相談支援センター

退院調整、在宅調整、医療福祉相談、
がん患者相談、脳卒中相談等

TEL：04-2995-1511 内線 6123～6126